

資料番号	8
------	---

令和4年10月19日
課名 農林水産局農業技術課
担当者 食品安全安心担当監 鈴木
内線 3584

## G A P 研修会の開催について

### 1 要旨・目的

広島県では、「2025 広島県農林水産業アクションプログラム」において、経営体の企業経営化に資するツールとしてGAPの導入を推進している。

6月・7月の基礎研修Iに続き、この度、生産者がGAPの必要性を理解し実践の契機とするため、人材育成や雇用確保などに効果的に活用された事例を学ぶ研修会を開催する。

### 2 現状・背景

県内のGAP認証取得状況（令和4年5月末現在）

種類	件数	経営体数
GLOBAL G. A. P.	2	2
ASIAGAP	5	5
JGAP	41	40
JGAP団体認証	2	23
合計	50	70

### 3 概要

#### (1) 実施主体

農林水産局農業技術課

#### (2) 実施日時及び場所

日時：令和4年12月8日（木） 13：30～16：00

場所：広島県立総合技術研究所 農業技術センター（東広島市八本松町原 6869）

※Zoomによるハイブリッド型研修会とする（研修会をリアルタイムで配信）。

#### (3) 実施内容

ア 講演（60分）：GAPを活かした経営力強化のヒント

講師：京丸園株式会社 代表取締役 鈴木厚志氏

<プロフィール>

静岡県で、芽ねぎ等の水耕野菜1.3ha及び水稲1.3haを栽培。「笑顔創造」を経営理念に掲げ、「ユニバーサル農業」に取り組む。2013年にJGAP認証を取得。GAPを経営管理システムと捉え、生産管理工程を作業者に合わせた工程へ再編成しマニュアル化することで、円滑な雇用確保や人材育成が進み、経営者の経営業務に専念できる時間の確保を実現した。役員4名、社員10名、パート88名（内、障害者22名）を雇用し、今もなお、多様な人が活躍できる場の拡大と新たな生産技術に挑戦中！GAP普及大賞2018、2019年第58回農林水産祭天皇杯など受賞。

イ トークセッション（70分）：GAP実践と人材育成をテーマに意見交換

コーディネーター：大信産業(株) 営業本部営業企画部事業企画室

室長 田中敏章氏（ASIAGAP 上級指導員、JGAP 審査員）

パ 初ス：京丸園(株) 代表取締役 鈴木厚志氏

三和鉄構建設(株)世羅農場サンワファーム 農場長 大宮淳優氏（R1 JGAP 認証農場）

(株)ルンビニ農園 代表取締役 今田典彦氏（R4 GAP 認証取得実践研修受講者）

令和4年度

# GAP 基礎研修会Ⅱ

GAPを活かして  
人材育成!

■日時 令和4年 **12月8日(木)**

13:30~16:00 (受付開始13:00~)

■会場 広島県立総合技術研究所 **農業技術センター** 1階講堂  
(東広島市八本松町原6869)

■対象 広島県内の農業者、農業関係者 等 ■定員 100名 ■参加費 無料

■申込 令和4年 **11月30日(水)**まで  
詳細は裏面、県HPをご覧ください。



## ■プログラム

第1部

### 講演 GAPを活かした経営力強化のヒント

~誰もが働きやすい環境づくりから始まる経営改善

▶ 講師 **京丸園株式会社 代表取締役 鈴木 厚志 氏**

静岡県で、芽ねぎ等水耕野菜1.3ha及び水稻1.3haを栽培。「笑顔創造」を経営理念に掲げ、「ユニバーサル農業」に取り組む。2013年にJGAP認証を取得。GAPを経営管理システムと捉え、生産管理工程を作業者に合わせた工程へ再編成しマニュアル化することで、円滑な雇用確保や人材育成が進み、経営者の経営業務に専念できる時間の確保を実現した。役員4名、社員10名、パート88名(内、障害者22名)を雇用し、今もなお、多様な人が活躍できる場の拡大と新たな生産技術に挑戦中! GAP普及大賞2018, 2019年第58回農林水産祭 天皇杯など受賞。



第2部

### トークセッション

GAP実践と人材育成をテーマに、講師、県内GAP認証取得農家、GAP認証に向けて準備中の農家が対談。各農園の取組、方針、悩み等をお話いただきます。

▶ コーディネーター

**大信産業(株)**

営業本部 営業企画部 事業企画室  
室長

**田中 敏章氏**

▶ パネリスト

**三和鉄構建設(株)**

**世羅農場 サンワファーム**  
農場長

**大宮 淳優氏**

▶ パネリスト

**(株)ルンビニ農園**

代表取締役

**今田 典彦氏**

ASIAGAP上級指導員, JGAP審査員として、広島県内を中心に20件以上のコンサル実績を有し、水稻、野菜、果樹など審査実績も多数。技術士(総合技術管理部門・農業部門:植物保護)、植物医師、病害虫専門技術員などの資格を保有し、病害虫防除や農薬の知識を生かした指導やスマート農業の普及にも取り組む。

世羅農場でぶどう2.5ha、因島農場でレモン1.3haを栽培。令和元年、ぶどうでJGAP認証を取得。社員8名、繁忙期にはパート4~6名を雇用。生産性向上のためには、スタッフの人材育成が必須と考えGAPを導入。農場長としての指示が徹底できる環境が整い始めた。ひろしまseedbox(ひろしま型スマート農業プロジェクト)にも参画。

施設1.2haでコマツナを中心に営農。正社員6名、パート17名を雇用。更なる規模拡大には、ルールに基づく農場経営、雇用者の働きやすい環境づくりが必要と考えGAP導入を決断。現在、認証取得に向けGAP認証取得実践研修を受講して準備を進めている。今年6月には働き方改革も行い、人材育成のため、毎週金曜、YouTubeで農作業動画を配信中。

広島県 農林水産局 農業技術課へ、FAX・メール・電話のいずれかでお申込みください。

申込  
期限

令和4年11月30日（水）

FAX

082-223-3566（広島県農業技術課宛て）

メール

申込用紙の内容を記載し、次のアドレスにお送りください。

[nougijutsu@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:nougijutsu@pref.hiroshima.lg.jp)



電話

082-513-3585

※当日参加も可能ですが、参加者把握のために事前申込をお願いします。  
 ※ご来場の際は、検温&マスクの着用にご協力をお願いします。  
 ※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止することがあります。ご了承ください。

所属団体名  
または  
所在市町名

氏名

電話

参加方法 ※○を付けてください。

農業技術センター 会場出席

Zoomによる出席

※次のアドレスへ、メールでお申し込みください。

農業技術課：[nougijutsu@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:nougijutsu@pref.hiroshima.lg.jp)

HPにも返信フォームをご用意しています。



申込代表者  
記載欄

研修会に参加する目的は何ですか？ ※該当する項目に○をしてください

GAPに取り組みたい

GAPをよく知らないの  
まずは勉強したい

すでにGAPに取り組んでいるが、新しいことを勉強したい。  
その内容は？（ ）

その他（ ）

出席者氏名

1

4

※申込代表者  
以外の申込が  
ある場合

2

5

3

6

連絡事項等

